学校番号	3030

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」（数研出版）						
副教材等	最新図説 公共 （浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1年次の公共では、中学公民分野の知識をもとに、政治分野の学習からスタートする。民主政治の本質を学ぶとともに、民主政治が世界および日本においてどのような道のりを経て獲得されたかを学ぶ。また日本国憲法の基本原理や、国会・内閣・裁判所の関係性を学び、民主政治の基本原理である三権分立がどのように実現されているか、課題は何かについて学習する。その際、今までに身につけてきた知識が、現実の社会ではどのように活かされているかを常に意識しながら学ぶことが必要である。普段より、書物や新聞・テレビなどを利用して得られる情報を積極的に吸収し、またインターネットも有効に活用し、日本や世界の現状や課題に関心を持ち、自分の意見をまとめ、表現できるように心がける。1年間の学習を通じて課題の提出を複数回課すので、授業中に新たに学んだことや、疑問点、自分の考えを自主的にノートに書き留めていこう。自ら学ぶ姿勢をもって授業に臨むこと。そして将来を担う地球市民の一員としての自覚を持つことが大切である。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、実際に様々な資料を用い、課題の解決に必要かつより客観的な資料を効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。

(2)現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や合意形成や社会参画をも視野に入れながら、構想したことを議論する力を養う。その際、他者の意見を尊重し、様々な立場に立って物事を判断する態度も身につける。

(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄をはかることや、各国がともに主権や多様な価値観を尊重するとともに、さらには「人間の安全保障」という観点に立って、世界中の人々がそれぞれ個人として尊重されることが大切であるという自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会と人間に関わる様々な文献、メディアなどの情報、教科書や資料集などの教材を用い、基本的な社会のしくみや現代社会の諸課題についての知識を身につけ、正確かつ有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を身につけている。	現代の諸課題について、広い視野に立って、多面的・多角的に考察し、社会の変化や日本において得られる情報と諸外国において得られる情報に差があることも考慮に入れ、公正かつ客観的に判断し、自分の意見や価値観を形成し、その意見や判断の根拠などを明確かつ適切に表現している。	現代の諸課題について、関心を持ち、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。さらには世界の平和や個人の尊重が大切であるという意識を持ち、人権意識を高く持ち、自分にできることは何かを主体的に考える態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	民主社会の基本原理	・民主政治の始まりと基本的人権の保障 ・権力分立と法の支配 ・個人と社会とのかかわり	a:民主政治に関して基本的な知識を有し、その獲得の歴史について理解している。 b:現代の民主政治の様々なしくみがなぜ取り入れられたかを多面的に考察・表現することができる。 c:積極的に意見を出し合い、民主政治のありかたについて常に関心を持ち、様々な資料を考察に活用しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート 観察
	日本社会の基本原理	・日本国憲法と基本原理 ・平等権、自由権 ・社会権、参政権、請求権 ・新しい人権、人権の国際的広がり	a:日本国憲法の基本原理について基本的な知識を身につけ、それぞれの権利が獲得された歴史的経緯についても理解している。 b:国際的な人権保障が日本に与えた影響について思考することができる。 c:社会で求められる人権保障を理解し、自分なりの考えをまとめ様々な意見についても考察しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	課題 提出ノート ワークシート 観察
後期	日本の政治機構	・国会のしくみと役割 ・内閣のしくみと行政機構 ・日本の裁判制度と人権保障 ・司法参加の意義	a:国会・内閣・裁判所の関係性について知識を深めることができる。 b:国民と三権の関係について意識し、政治参加の意義を考察・表現することができる。 c:司法参加の意義について考えを深め、裁判の傍聴や司法参加の資料にも関心を持ち活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	課題 提出ノート ワークシート 観察
	政治参加と民主政治の課題	・選挙と選挙制度 ・政党の役割 ・地方自治の現状と課題 ・世論の形成と現代民主政治の課題	a:選挙権獲得の歴史や現在の選挙制度について知識を深めることができる。また「民主政治の学校」といわれる地方自治の現状について理解している。 b:地方自治のシステムがどのように民主政治を実現しようとしているかを考察することができる。 c:民主政治の課題、ネット社会が民主政治に及ぼす影響について、積極的に様々な資料を活用し、考察を深めようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度